

山梨県内には、伝統的な美しさを備えた伽藍や庭園、四季折々に咲き乱れる花々など、歴史と魅力あふれる神社仏閣が数多くあります。

日本人の心のふるさとともいえる、神社と寺院を訪ねてみませんか？

## ■ もくじ

### この冊子のご利用にあたって

この冊子は、山梨県内の主な寺院と神社を紹介するものです。

作成にあたっては、県内各市町村と清雲俊元 前山梨県文化財保護審議会会長(放光寺長老)、堀内眞山梨県文化財保護審議会委員(山梨郷土研究会理事)の両氏に協力をお願いし、内容は既存の資料を参考にしました。

	ページ
善光寺と武田信玄	4
甲府盆地は湖だった!?	14
日本武尊の東征と連歌の発祥	15
妖怪?! 怪奇伝説大集合	25
樋口一葉の父が学んだ学校	36
県名の由来と不思議な神像	51
中里介山の月見寺	56
富士山の神・木花開耶姫	74
ご利益あり? 珍しい木や花	111
父母想う日蓮聖人	114
神社・お寺のお参りの方法	117

	ページ
■ 甲府・昇仙峡エリア	4
甲斐善光寺 塩澤寺 積翠寺 法泉寺 大泉寺 能成寺 東光寺 瑞泉寺 信立寺 円光院 永泰寺 円楽寺 一蓮寺 千松院 遠光寺 金櫻神社 穴切大神社 甲斐奈神社 佐久神社 酒折宮 柳町大神宮 横近習大神宮 武田神社 稲積神社 玉諸神社 住吉神社 天津司神社 羅漢寺 天澤寺 常説寺 光照寺 慈照寺 三社神社 山縣神社 永源寺 大福寺 諏訪神社 義清神社	
■ 笛吹・甲州・山梨エリア	26
永昌院 清白寺 大井保窪八幡神社 吉祥寺 洞雲寺 中牧神社 那賀都神社 雲峰寺 放光寺 恵林寺 万福寺 慈雲寺 菅田天神社 栖雲寺 立正寺 三光寺 大善寺 景德院 金井加里神社 神部神社 熊野神社 諏訪神社 大蔵経寺 遠妙寺 慈眼寺 国分寺 広蔵院 福光園寺 聖心寺 称願寺 広濟寺 瑜伽寺 定林寺 比枝神社 石和八幡宮 美和神社 甲斐國一宮浅間神社 熊野神社 山梨岡神社	
■ 東部エリア	56
保福寺 一宮神社 牛倉神社 熊野神社 箭弓神社 長作観音堂 法雲寺 真蔵院 花井寺 三嶋神社 長生寺 円通院 広教寺 西涼寺 宝鏡寺 長安寺 生出神社	
■ 富士山・富士五湖エリア	68
河口浅間神社 円通寺 蓮華寺 白山神社 筒口神社 富士御室浅間神社 諏訪神社 無戸室浅間神社 魔王天神社 八幡神社 月江寺 西方寺 西念寺 小室浅間神社 北口本宮富士浅間神社 忍野八海浅間神社 承天寺 東圓寺 内野浅間神社 寿徳寺 山中諏訪神社	
■ 八ヶ岳・韮崎エリア	80
海岸寺 清光寺 清泰寺 高龍寺 実相寺 北野天神社 下教来石諏訪神社 金刀比羅神社 逸見神社 神部神社 比志神社 熱那神社 根古屋神社 若宮八幡大神社 宇波刀神社 願成寺 満福寺 常光寺 大公寺 藤武神社 倭文神社 武田八幡宮 若宮八幡宮 穂見神社	
■ 南アルプス・富士川流域エリア	96
古長禅寺 長谷寺 伝嗣院 長遠寺 法善寺 妙了寺 宝珠寺 深向院 高尾穂見神社 江原浅間神社 諏訪神社上社 明王寺 南明寺 昌福寺 宝寿院 氷室神社 妙法寺 最勝寺 薬王寺 光勝寺 表門神社 一宮浅間神社 弓削神社 奈良王神社 山王神社 慈観寺 方外院 大聖寺 上澤寺 南松院 本国寺 龍雲寺 本妙寺 若宮八幡神社 熊野大神社 一宮賀茂神社 円蔵院 内船寺 最恩寺 身延山久遠寺 敬慎院 奥之院	

## ■ 甲府・昇仙峡エリア



重要文化財に指定されている善光寺の金堂



### か い ぜん こう じ 甲斐善光寺

金堂内には、手を打つと共鳴する「鳴き竜」や闇の中を手探りで歩いて行き仏様の御利益を得る「戒壇巡り」がある。七年に一度、本尊の御開帳がある(次回は平成33年)。甲斐善光寺宝物館を併設し、阿弥陀三尊像や源頼朝像など多数の文化財を展示している。

■ 甲府市善光寺3-36-1 ■ 055(233)7570 ■ 重文: 山門、本堂(金堂)、銅造阿弥陀如来及両脇侍立像(本尊)、木造阿弥陀如来及両脇侍像 2組 県指定文化財: 4件 ■ 金堂・宝物館共通500円

表紙

### ちよつとより道

地場産品や土産物を展示販売  
善光寺西隣 **かいてらす**



甲府市東光寺3-13-25  
☎055(237)1641

## 長野から山梨へ…善光寺と武田信玄

天文22年(1553)から10年以上にわたり、北信濃の支配権をめぐって争われた武田信玄と上杉謙信の川中島の戦い。信玄は早々に信州善光寺を手に入れ、長野盆地の南半分を勢力下に置いた。その後、善光寺に兵火がかかるのを危惧した信玄は、永禄元年(1558)に阿弥陀如来と数々の寺宝を甲府に移し、信州善光寺の鏡空上人を開基として新たに堂塔を建立した。これが甲斐善光寺で、当時は大勢の僧侶や職人、商人もこれに従い、「一つの門前町が移動した」と古い記録に残っている。

金堂は、信州善光寺と同等の規模と形式で建てられたが、その後火災に遭い、建て直された建物は、雄壮なたたずまいを見せている。



塩澤寺の厄除け地藏尊大祭  
塩澤寺地藏堂に安置されている石造地藏菩薩は、2月13、14日に、年に一度だけ耳が聞こえ、願い事を聞いてくれるといわれ、県内外から大勢の参拝客で賑わう。

P 6



### えんたくじ 塩澤寺

春の祭り「厄地藏さん」に大勢の参拝者が訪れる真言宗寺院。弘法大師の開山と伝えられる。地藏堂は室町末期の建築様式を残す。四国八十八カ所巡りと同じご利益があるという「お砂踏霊場」も。

- 甲府市湯村3-17-2
- 055(252)8556
- 重文：地藏堂 県指定文化財：無縫塔、石造地藏菩薩坐像、弥陀種子板碑 県指定天然記念物：舞鶴のマツ

P5



### せきすいじ 積翠寺

奈良時代の高僧・行基による開山と伝えられる。武田信玄誕生の地で、産湯を汲んだ井戸がある。本堂左手の不動堂には不動尊や武田信玄像などが祀られている。境内からは、甲府盆地が見渡せる。

- 甲府市上積翠寺町984
- 055(252)6158



### ほうせんじ 法泉寺

鎌倉末期(1329~34年)に甲斐守護・武田信武が開基、夢窓国師を開山に創建。武田家滅亡の際、勝頼公は景德院(P39)で自刃し、その首は京都でさらされた。法泉寺の住職が、勝頼公の髪と歯を持ち帰り寺に葬った。甲府五山の一つ。山号・金剛福聚山は、境内の大岩の上に祀られている金剛智慧不動尊に由来する。

- 甲府市和田町2595
- 055(252)6128

法泉寺の金剛智慧不動尊



ちよつとより道

甲州ぶどうを白い蜜で覆った銘菓  
月の雫



### だいせんじ 大泉寺

大永元年(1521)、信玄の父・信虎が開基した禅寺。信虎、信玄、勝頼の帰依は厚く、さらに浅野家、柳沢家の庇護を受け繁栄した。御霊殿には武田家三代の木像が安置され、その裏には信虎の墓がある。

- 甲府市古府中町5015
- 055(253)2518
- 重文：絹本着色武田信虎像、絹本墨画松梅図 県指定文化財：金銅金具装笠、大泉寺文書 県指定史跡：武田信虎の墓



### のうじょうじ 能成寺

貞和年間(1345-1350)に業海本浄によって八代郷に開かれ、のちに移転した。天文11年(1542)の「信玄の制札」、天正19年(1591)の「加藤光泰禁制」などの文書が残っている。甲府五山の一つ。

- 甲府市東光寺町2153
- 055(233)9396



### とうこうじ 東光寺

仏殿は室町時代の建築という。文永5年(1268)、鎌倉を追われた僧・蘭溪道隆が禅寺として再建した。武田家滅亡の際には織田勢に火を打たれ甲府空襲にも遭ったが、仏殿だけは焼失を免れた。甲府五山の一つ。

- 甲府市東光寺3-7-37
- 055(233)9070
- 重文：仏殿 県指定文化財：木造薬師如来坐像、木造薬師十二神将像、蘭溪道隆書簡 県指定名勝：庭園



### ずいせんじ 瑞泉寺

武田氏の加護のもとに明応7年(1498)、鎌倉で荒廃していた錦屏山瑞泉寺を模して造立したことに始まる。誓願寺、尊跡寺、教安寺、来迎寺とともに浄土宗府中五カ寺として知られる古寺。

- 甲府市中央3-7-17
- 055(233)7285



### しんりゅうじ 信立寺

身延山久遠寺の甲府における宿寺としての役割を担い、久遠寺と一体で扱われていた巨刹だった。本尊の釈迦如来像は、信玄の父・信虎が病に倒れた際、霊験あらたかな像を探し出して祈願したものだという。

- 甲府市若松町6-8
- 055(232)3363



えん こう いん  
**円光院**

古くは石和町にあったものを武田信玄が永禄3年(1560)に移し、正室の三条夫人を開基とした。境内西側にある三条夫人の墓所は県指定史跡。甲府五山の一つ。境内からは甲府市街を見下ろせる。円光院から南西へ400mほどの住宅地の中に武田信玄の墓所がある。

- 甲府市岩窪町500-1
- 055(253)8144
- 県指定史跡: 武田晴信室三条氏墓

山梨のお寺メモ

【甲府五山】

東光寺、能成寺、長禅寺、円光院、法泉寺の5寺(P6、7参照)。武田信玄が、京都と鎌倉の五山制度にならい、甲府に五山制度を定めるために、甲斐国の古刹を府中(甲府)に集めた。





**永泰寺の木造釈迦如来立像**

甲府市古閑町の永泰寺の釈迦堂に安置されている、寄木造りの木造釈迦如来立像。清涼寺式で、優雅な曲線が美しい。県指定文化財。秘仏だが、毎年4月8日の花祭りに、年に一度だけ御開帳される。

 P 12



えんのぎょうじや  
**円楽寺の役行者像**

えんのおつゆ  
役行者(役小角)は、修験道の祖。異彩を放つこの像は、かつては富士山二合目の御堂に収められていたという。富士山信仰と深い関係がある像で、現在は円楽寺本堂に安置されている、日本最古の像である(平安末期・県指定文化財)。拝観には事前の連絡を。

 P 12



## いちれんじ 一蓮寺

貴重な歴史資料とされる「一蓮寺過去帳」を所蔵する。武田家の一族・一条時信が開基。当初は一条小山(現在の舞鶴城公園)にあったが、甲府城築城の際、稲積神社とともに移転した。山梨県議会発祥の地。

- 甲府市太田町5-16
- 055(233)2009
- 重文: 絹本着色釈迦三尊十八羅漢図  
県指定文化財: 一蓮寺過去帳、紙本着色渡唐天神像、絹本着色柳沢吉保像ほか2件



## おんこうじ 遠光寺

甲斐源氏・加賀美遠光が建暦元年(1211)に建立した。甲府空襲で伽藍を焼失した後、山梨県出身の建築家・内藤多仲が、奈良・法隆寺の夢殿を模して設計した。身延山久遠寺の3つある触頭の一つだった。

- 甲府市伊勢2-2-3
- 055(235)1783

**ちよつとより道**

甲府駅から徒歩3分  
武田氏滅亡後に建てられた甲府城跡




舞鶴城公園



## えんらくじ 円楽寺

大宝元年(701)、修験道の祖・役行者によって草創された。桓武天皇の代から国家鎮護の勅願道場として栄え、以来、武門の帰依も多かった。境内の大イチョウは市指定天然記念物。歌人・山崎方代の墓所も。

- 甲府市右左町4104
- 055(266)4018
- 県指定文化財: 木造役行者及二鬼像

P 11 



## せんしょういん 千松院

天正年間(1573~91)、武田氏が荒川の水難除けとして創建したと伝えられ、以前は住吉神社の祠があった。入口の石柱には「甲斐府中観音霊場第一番札所」と刻まれている。墓域には甲府勤番の武士たちの古い墓も。


- 甲府市相生3-8-9
- 055(233)7794



## えいたいじ 永泰寺

夢窓国師が開山。本尊の木造釈迦如来立像はかつて京都にあったものを国師が移したという。また、釈迦岳の山頂付近の寺にあったが、洪水で流されそうになったこの像を、大亀が現れて背に乗せて救ったという伝説も。

- 甲府市古閑町1555
- 0555(88)2205
- 県指定文化財: 木造釈迦如来立像

P 10 



### 金櫻神社の鬱金の桜

山梨県の代表的な景勝地・昇仙峡に近い金櫻神社は、金運、厄除けを祈願に訪れる人が多い。とくに鬱金の桜は、4月下旬から5月上旬にかけて黄金色をおびた花を咲かせ、この花の季節に祈願すると一生金運に恵まれるという。



- 甲府市御岳町2347
- 055(287)2011
- 県指定文化財: 能面、住吉時絵手箱 ほか3件

## かなざくらじんじゃ 金櫻神社

およそ2000年前、崇神天皇が諸国に悪疫退散と万民息災の祈願をした際、奥秩父山塊の金峰山に少彦名命を祀ったことが起源。金峰山を御神体とし、山頂に奥宮がある。御神木は「鬱金の桜」。本殿には伝・左甚五郎作「昇・降竜」が復元されている。



## 湖水伝説 甲府盆地は湖だった？

山梨県は、白雪を頂く富士山や、白根三山、ハケ岳などをはじめ四囲を高い山々に囲まれている。大昔、この甲府盆地は一面の湖水に覆われていたという。稲積地蔵が「この水を抜けば肥沃な土地が現れるはず」と、神様に相談した。そこで穴切明神が山に穴を開け、蹴裂明神が岩を蹴り飛ばし、さらに瀨立不動が川を作って水を導いた。こうして、甲府

盆地の水は抜け、人々は豊かに暮らせるようになったという…。

この「湖水伝説」にはいろいろなバリエーションがあるが、登場する二神二仏は、甲府市の穴切神社、佐久神社などに祀られている。また、甲府市の甲斐奈神社には、甲斐の国で疎水工事が行われたことが社記に残っている。



あなぎりだいじんじゃ  
**穴切大神社**

甲府市の中心街にある「湖水伝説」が残る神社。古くは「穴切明神」と呼ばれていた。一間社流造檜皮葺の本殿は、正面に美しい金具を施した両開戸がある。桃山時代の建築といわれ、重要文化財に指定されている。

■甲府市宝2-8-5  
■055(222)3852  
■重文:本殿 附棟札3枚



かいなじんじゃ  
**甲斐奈神社**

社記に土本毘古王が甲斐国の疎水工事をを行った際、甲斐奈山に白山大神を祀る、とある。皇室との縁も深く、皇族ご懐妊の折には、安産祈願の神札を献上したと伝えられる。甲斐奈神社は県内に3社ある。

■甲府市中央3-7-11  
■055(233)4742



さくじんじゃ  
**佐久神社**

縁起では、土本毘古王が湖の水を富士川に流した工事の功によって佐久大明神として祀られたとある。県内に20社ある式内社の一つとされる。県立考古博物館のある曾根丘陵公園へは、車で5分の距離。

■甲府市下向山町892



さかおりのみや  
**酒折宮**

県内で唯一、古事記、日本書紀に記載されている古社。御神体は日本武尊が塩海足尾に「ここにとどまり国を開き民を育め」と授けた火打囊(火打ち石を入れる袋)。当初は北側の月見山の中腹にあった。連歌発祥の地。

■甲府市酒折3-1-13  
■055(231)2690

## やまとたけるのみこと 日本武尊の東征と 連歌の発祥

「古事記」によると、倭建命(日本武尊)は、父・景行天皇の命令で東征の軍を進め、功を上げた。その帰路、足柄坂を越えて甲斐国に入った。酒折宮で軍を休めたとき、東征を振り返った命は「新治 筑波を過ぎて幾夜か寝つる」と詠った。常陸国(茨城県)を旅立ってから何日経ったか」という問いかけだったが、周りの重臣たちは歌で返すことができない。その時、焚き火の番をしていた老人・御火焼翁が「かがなべて 夜には九夜日には十日を」と答えた。

このやり取りは連歌の起源とされ、酒折宮は連歌発祥の地とされている。

ちよつとより道  
酒折宮から徒歩2分  
梅の名所 不老園  
20数種類、およそ3200本の梅の木が植えられている。  
甲府市酒折3-4-3  
☎055(233)5893



不老園北の山道を5分ほど登ると酒折宮旧跡の古天神跡があり、連歌発祥の地とされている。

### 大神宮節分祭

2月3日の節分に開かれる横近習大神宮、柳町大神宮の大神宮祭。古くから春の訪れを告げるお祭りとして「大神さん」と呼ばれ、甲府市民から親しまれている。付近には露店が並び、豆まきが始まると鬼が町中を逃げ回る。夕方から夜遅くまで、商売繁盛・家内安全などを願うたくさんの人々にぎわう。



### やなぎまちだいじんぐう 柳町大神宮

本来は神明社といい、祭神は天照大神。永正16年(1519)、武田信玄の父・信虎が躑躅ヶ崎の館を開いたとき、石和から遷座させ、甲府城築城の際に現在地に移った。2月3日の節分祭は多くの参拝者で賑わう。

- 甲府市中央4-5-28
- 駐車場無し



### よこさいじんぐう 横近習大神宮

かつて神明社甲斐甲府大神宮と称し、甲斐源氏の祖・新羅三郎義光の命により伊勢信仰を基に奉建した神社。武田家の崇敬篤く、武田菱を神紋とする。社殿は伊勢本宮より、遷宮の古材の一部を賜り建てられたもの。

- 甲府市中央2丁目
- 駐車場無し

### たけだじんじゃ 武田神社

大正8年(1919)、信虎、信玄、勝頼の武田家3代が62年にわたり居住した「躑躅ヶ崎館」の跡地(国指定史跡)に創建され、祭神に武田信玄を祀る。宝物殿では、名刀・吉岡一文字(重文)をはじめ、孫子の旗などを多数展示。

- 甲府市古府中町2611
- 055(252)2609
- 重文:太刀 国指定史跡・武田氏館跡



### いなづみじんじゃ 稲積神社

湖水伝説にゆかりのある、五穀豊稔祈願の神社。甲府城(舞鶴城公園)築城の際、一条小山にあったものを一蓮寺とともに太田町に移した。毎年5月2日~4日に開かれる「正の木祭り」には、多数の露店が並びにぎわう。

- 甲府市太田町10-2
- 055(233)5573



### たまもろじんじゃ 玉諸神社

甲斐国三宮。日本武尊が酒折宮で軍を休めた際、北の御室山に勾玉を埋め国を鎮める国玉社を祀ったのが始まりとされる。勾玉の上に植えた杉がのちに「玉室杉」と呼ばれ、「たまもろ」の由来となったという。「おみゆきさん」の三宮(P19)。

- 甲府市国玉町1331



### すみよしじんじゃ 住吉神社

武田家の信奉篤く、かつて一条小山(現在の舞鶴城公園)にあったが、武田家滅亡後、甲府城の築城を進めた際に移転した。夏季例大祭では伝統の御田植神事が行われ、近隣の小学生が花笠に着物の早乙女に扮し、御田で田植えをする。

- 甲府市住吉1-13-10
- 055(233)2479







天津司舞

■甲府市小瀬町557  
■重要無形民俗文化財:天津司舞



て ず し じん じゃ  
天津司神社

天から12神が下り、うち9神が舞楽を奏し続けたおかげで小瀬の里が開かれたという伝説が残る神社。古くから伝わる「天津司舞」は重要無形民俗文化財で、9体の等身大木造人形を用いて田楽舞を演じる。毎年4月10日の前の日曜日に開催される。



こう しょう じ  
光照寺

薬師堂と宝物殿のみ。薬師堂は3間宝形造りで装飾などに室町時代後期の様式を伝える。武田信虎が甲斐市(旧双葉町)・登美村から岩森村に移して栄えたが、織田勢に襲われ、残った薬師堂だけが現在地に移転した。

■甲斐市岩森1622  
■重文:薬師堂 附厨子



じ しょう じ  
慈照寺

延徳元年(1489)、真言の廃寺を禅宗に改め開創される。法堂と寛永16年(1639)建立の山門は桃山時代の荘厳な建築様式の特徴を伝える。竜王伝説が伝わる「竜王水」は法堂の前にある。慈照寺文書は非公開。

■甲斐市竜王629  
■055(276)2510  
■県指定文化財:山門、法堂、慈照寺文書16通、木造釈迦如来及両脇侍坐像



さん しゃ じん じゃ  
三社神社

天長2年(825)の洪水で、時の国司が奏上し、淳和天皇の命で水難除けの御行幸(おみゆきさん)が始まったという。神事を行う釜無川の岸に、3つの神社の祭神を勧請してできた神社。祭りでは氏子総代宅に旗を立て飲食を振る舞った。

■甲斐市竜王1888



ら かん じ  
羅漢寺

かつて羅漢寺山の一の岳、二の岳、三の岳にそれぞれ小堂を設け、山全体を修行の場としていた。その歴史は1000年以上。木造としては日本最古といわれる五百羅漢像は、小堂に分けられていたものを集め、阿弥陀如来坐像とともに保存庫に安置している。

■甲斐市吉沢4835  
■県指定文化財:木造阿弥陀如来坐像、五百羅漢像  
■駐車場無し

👉 P 20



てん たく じ  
天澤寺

三門には左に愛染明王、右に摩利支天、階上には33体の観音像が安置されている。武田信虎時代からの重臣・飯富氏の菩提寺。毎年4月中旬の日曜日には、観音祭りが開かれる。総門右手に「六地藏幢」がある。

■甲斐市亀沢2609  
■055(277)2822  
■県指定文化財:六地藏幢



じょう せつ じ  
常説寺

平安時代の高僧・最澄の弟子・栄澄が圓乗寺として創建。金峰山信仰の拠点だった。文永年間(1270年頃)に日蓮が一泊して日蓮宗に改宗、現寺院名となった。重文の白輿は順徳上皇が使われたものという。

■甲斐市吉沢714  
■055(277)3727  
■重文:白輿



やま がた じん じゃ  
山縣神社

江戸時代中期の学者で「土農工商は職務分担であり、人は皆平等である」と四民平等の精神を説いた山縣大弐を祭神とする。大弐の教えは明治維新の原動力になった。学問・教育・平和の神として祀られている。

■甲斐市篠原190  
■055(276)2653  
■県指定文化財:山県大弐自筆著書並墨書132巻



えい げん じ  
永源寺

加藤梵玄という武将が自らの屋敷を寄進して創建した。本堂前に「お田植え地蔵」が祀られている。かつて明暗寺という虚無僧の寺があったが廃寺となったため親寺の永源寺に本尊などが託された。

■中央市下河東880  
■055(273)2536  
■重文:木造聖観音立像


山 梨 の 神社 × モ

【おみゆきさん】

「おみゆきさん」は甲州三大御幸祭りの一つで、釜無川の信玄堤付近で毎年4月15日に行われる水難除けの神事。淳和天皇が一宮・一宮浅間神社(笛吹市)、二宮・美和神社(笛吹市・ともにP49)、三宮・玉諸神社(甲府市・P17)に勅旨を下され、三社神社周辺で神事を行ったのが始まり。江戸時代には3つの神社から出発した神輿と一行は大名行列のような規模になり、途中、一蓮寺(甲府市・P12)には棧敷が設けられ見物したという。今では神輿も人も移動には車を使っている。

### 紅葉に覆われた羅漢寺

昇仙峡は荒川がつくりだした渓谷。羅漢寺参拝には昇仙峡グリーンラインが便利だが、紅葉の時は巨岩・奇石を見ながら渓谷沿いを遊歩道で登っていくのもおすすめ。

P 18 





だいふくじ  
**大福寺**

武田家の祖・武田信義の弟・<sup>あきりよいち</sup>浅利与一義成が帰依した真言宗寺院。壇ノ浦で名を上げた浅利与一は“源氏の三与一”と呼ばれた弓の名手。像高2.8mの薬師如来像は県内屈指の大きさという。シルクの里公園に隣接。

- 中央市大鳥居1621
- 055(269)2932
- 県指定文化財：浅利与一の墓、木造薬師如来坐像



すわじんじや  
**諏訪神社**

浅利与一が浅利の庄の鎮守として崇敬した。武田家や徳川家からも寄進を受けている。8月の例祭は、浅利川から笛吹川堤への神輿の渡御があり、水難防除の神事が行われる。周辺には道の駅とよみがある。

- 中央市浅利2974

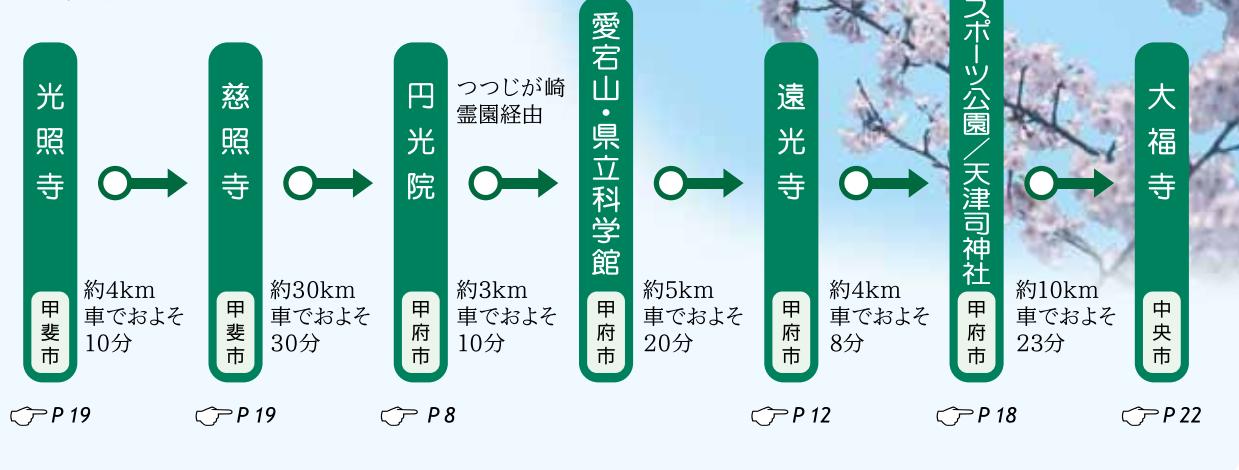


よしきよじんじや  
**義清神社**

甲斐源氏の祖・新羅三郎義光の子・刑部三郎義清を祀る。義清公が隠居後に住んだ館跡を社地としている。今も堀の一部が残り、境内西にある「おこんこん山」は義清公の墳墓と伝えられている。

- 中巨摩郡昭和町西条4265

■ 甲府・昇仙峡エリア モデルコース  
**盆地のサクラめぐり**



ちよつとより道  
富士を見ながら芸術散歩  
**芸術の森公園**  
県立美術館  
県立文学館



美術館：甲府市貢川1-4-27  
☎055(228)3322  
文学館：甲府市貢川1-5-35  
☎055(235)8080

武田信玄の治水事業  
**信玄堤**



■ 甲府・昇仙峡エリア



国指定の特別名勝  
**昇仙峡**



古代の山梨の様子がわかる  
**県立考古博物館**



甲府市下曾根町923  
☎055(266)3881

## ■ 甲府市街地拡大図

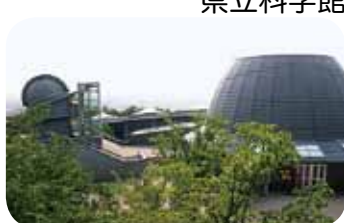
甲府駅南口の顔 待ち合わせに  
武田信玄公 像



ちよつとより道

子供は大好き!!

愛宕山こどもの国と  
県立科学館



県立科学館: 甲府市愛宕町358-1  
☎055(254)8151

山梨宝飾産業と「山梨ジュエリー」魅力  
を発信  
山梨ジュエリーミュージアム



甲府市丸の内1-6-1 県防災新館  
☎055(223)1570



## 妖怪?! 怪奇伝説大集合

### 古狸

常光寺 (韮崎市)

鎌倉の建長寺の住職が、常光寺に巡行にやってきた。しかし、この住職は古狸が化けていた。本当の住職は狸に食い殺されていた。常光寺の庭先の老松を見た二セ住職は「この木は近々枯れるので記念に描いていこう」と杉戸に松の絵を描いた。ただ、描いている姿は誰にも見せなかった。二セ住職は常光寺を出たあと、台ヶ原で犬に見破られ、ついに本性を現したという……。



常光寺で古狸が描いたという「杉戸の松」

### 竜王

慈照寺 (甲斐市)

釜無川の高岩(赤岩)近くの淵に悪竜が住み着いて人々を困らせていた。そこで慈照寺の住職が秘符を授けたところ、竜は改心して、初代住職の求めに応じて慈照寺の境内に清浄な水を湧き出させた。それが「竜王水」で、甲斐市竜王の地名の由来にもなっているという……。

### 大入道

稲積神社 (甲府市)

ある男が夜、泣いている子どもに会う。買い物に出たがお金を無くしたという。哀れに思い買い物をしてあげて家まで送っていくとすると、稲積神社のあたりで子どもは姿をかき消し、代わりに恐ろしい大入道が現れ、「今の金を返す」と大きな手に一文銭を二つ乗せて突きだした。男はあわてて逃げ帰ったが、その後、病に伏してしまったという……。

### 霊亀

広蔵院 (笛吹市)

広蔵院建立の際、大切にされていた亀の池を埋めることになった。ところが池の中心がどうしても埋まらない。そこで高僧が杖でかき回すと、背に薬師如来像をのせた亀が現れた。高僧が像を受け取ると亀は沈んでいき、その後、池を埋めることができたという……。

### 天狗

伝嗣院 (南アルプス市)

東西の天狗が集まり文字のうまさを競った。この地の天狗は、伝嗣院の和尚さんの右手を借りて参加、見事に勝ちを得た。天狗はそのお礼に観音像を伝嗣院に奉納したという……。



## 妖怪・怪奇伝説ハンティングコース

